



配水池に導入した市有施設最大規模の 太陽光発電設備の稼働を開始!

【導入場所】岩倉山配水池、万日山配水池、徳王配水池

熊本市では、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、率先的に本市の事務及び事業の脱炭素化に取り組んでいます。本年3月に策定した「熊本市役所脱炭素化イニシアティブプラン」では、市有施設における電力の脱炭素化に向け、再生可能エネルギー設備を最大限導入することとしています。

現在、国のモデル事業の採択を受け、PPA方式を活用した太陽光発電設備の整備(※)に取り組んでおり、4月には、配水池に整備した、市有施設で最大規模の太陽光発電設備の

稼働を開始しました。

今後も引き続き、温室効果ガス排出量の削減や災害に強い自立・分散型エネルギーシステムの構築を目指し、PPA方式などの整備手法も活用しながら、市有施設において再生可能エネルギー設備を最大限に導入していきます。

※施設の屋上など、指定されたスペースに電気事業者が太陽光発電設備等を設置し、発電した電力を施設に供給するもの。施設の管理者等は、電気事業者と太陽光発電設備で発電した電力の購入契約を締結する。



徳王配水池

本事業による効果(見込)



発電量

年間 約228万kWh
一般家庭で1年間に使用する電力の約550世帯分に相当



温室効果ガス排出量(CO₂)の削減効果

年間 約830トン

アクアドーム約57個分の面積(94ha)の森林が1年間に吸収する二酸化炭素に相当

熊本市地球温暖化防止活動推進センターより

参加費
無料

中小企業の 脱炭素化に向けた セミナー開催

PPAや
ZEBって
何??



脱炭素化って
どうすれば
いいの???

環境省 令和5年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(地域における地球温暖化防止活動促進事業)を活用しセミナーを開催します。中小企業の脱炭素化に向けたPPA(Power Purchase Agreement)、ZEB(Net Zero Energy Building)をテーマにします。中小企業の皆様の経営にもプラスになる内容ですので、ぜひ多くの方々のご参加をお待ちしています。

中小企業の脱炭素化に向けた PPA・ZEBに関するセミナー

日時 2023年9月5日(火) 13:30-16:00
13:00より受付

会場 くまもと県民交流会館パレア9F 会議室3
〒860-8554 熊本市中央区手取本町8-9

定員 40名 後援 熊本県、熊本市

お問合せ・お申込み

熊本市地球温暖化防止活動推進センター
(一般社団法人熊本環境革新支援センター)

<人吉事務所>

TEL・FAX 0966-24-5355

Eメール yanase-k@giga.ocn.ne.jp

参加者名(所属企業名)・参加人数・連絡先を明記ください。

熊本市地球温暖化防止活動推進員より

最新
型

家計簿&環境家計簿で デコ活しよう! -前編-

「入るを量りて出ずるを制する」家計のスリム化も、デコ活もできる「家計簿&環境家計簿」を作ってみました。まず今回は、私が「家計簿&環境家計簿」を作った理由についてご紹介いたします。

デコ活とは
「脱炭素しよう!」
という
環境省の愛称だよ!



1 日本における家庭部門の CO₂削減目標は どれだけ?

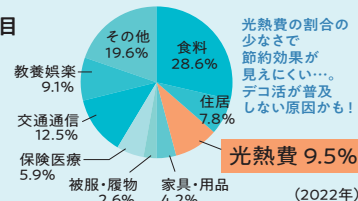
日本では2050年までCO₂排出量実質ゼロを目指し、まず2030年までに家庭部門で2013年比66%の削減を進めています。

家庭部門における2013年を基準とした
66%削減した2030年までの排出量目標
(国の地球温暖化対策計画より)

日本の家庭部門の排出量
2.08億t(2013年)
⇒0.7億t(2030年)
1世帯当たりの排出量
3,680kg(2013年)
⇒1,251kg(2030年)

2 家計に占めるCO₂削減を担う費目 「光熱水費」の割合は 思ったより少ない!

右のグラフは70歳以上の夫婦世帯の家計の費目別グラフです。「光熱水費」割合は全体の1割程度しかありません。



3 我が家も「光熱水費」の 割合はもっと少なかった

我が家での「光熱水費」の家計割合をみると6.1%と70歳以上の夫婦世帯の平均よりも少なく、CO₂排出量は2022年時点で2,277kgでした。それでも我が家では国の2030年までの排出量目標の1,251kgにはあと1,026kg削減する必要があり、達成にはもっともっと取り組む必要があります。

我が家の2030年までの排出量目標

2022年時点で2,277kg

⇒1,251kgが目標

45%の
削減
目標!!

4 もっとCO₂削減するぞ! 家計とCO₂削減のための 家計簿づくり

CO₂削減のモチベーションを上げるには家計削減との両立が欠かせません。我が家の家計、CO₂削減量を見える化するため「家計簿&環境家計簿」を作成し取り組んでいます。

2013年比我が家の実績比較推移表



次回はよいよこの最新型「家計簿&環境家計簿」のつくり方を紹介します!